

ハワイ島キラウエア火山最新情報 (ハワイ時間 2018年5月24日発表)

※本リリースは 2018 年 5 月 24 日米国ハワイ州で発表されたリリースの抄訳です。内容および解釈については英語が優先されますため、原文リリースをご確認ください。

ハワイ島キラウエア火山噴火最新情報 (ハワイ時間 2018 年 5 月 24 日時点)

米国地質調査所国立公園サービスは、2018年5月23日(ハワイ時間午前11時)にイエローストーン火山観測所、火山ハザードプログラムの副責任である科学者ウェンディ・ストーボル博士が次のように述べたことを発表いたしました。

「昨夜パホアで開かれた地域ミーティングに参加した際に、大変印象に残ったことは、このような状況下でも、人々が通常通り食料品の買い物ができることです。そして、噴出する溶岩によって、空が通常とは異なる色に染まり、一部地域で、影響を与えているということです。しかしながら、火山噴火によってハワイ島への訪問を取りやめる必要はございません。火山活動による影響は、ハワイ島東端のごく一部の限られた地域のみで起こっている事であり、美しいビーチや余暇を楽しむためにハワイ島を訪れることにはまったく影響はありませんのでご安心ください。

レイズと呼ばれる溶岩性煙霧について人々の認識に誤解を呼んでいるようですが、現在発生している煙霧は、プウオオ火口噴火時に発生したものと同様であり、噴火当時は特に問題視されておりませんでした。この影響は、非常に局地化されており、発生地近くの地域にのみで見られる現象です。ハワイ島全土や他の地域に流れるものではありません。そのため、こちらを懸念して旅行をキャンセルする必要はございません。」

- ハワイ島へご旅行される皆様は、ご旅行先を変更頂く心配はございません。
- ハワイ諸島へ離発着するすべてのフライトは通常通り運航されております。
- 宿泊施設、各種アクティビティー、及びアトラクションも、プナ地区の被害地域を除きハワイ島全域において通常通り営業しております。
- ハワイ島東側の島に位置する東リフトゾーンに沿った遠隔地とキラウエア山頂および周辺地域を除いて、ハワイ諸島へのキラウエア火山の活動による影響はございません。
- 南東部リフトゾーンより約 64km 離れたハワイ火山国立公園内に位置するハレマウマウ火口から噴出 している火山灰や蒸気は、常時監視されております。これは岩石がクレーターに落ち込み、マグマと 地下水の相互作用によって起こる自然現象です。

- キラウエア火山は地球上でも最も活発な火山のひとつであり、過去 35 年間に渡り噴火し続けています。
 - VOG(ヴォグ):火山霧の濃度は、火山活動のレベルおよび風向き、風力に左右されます。
 - S02: 二酸化硫黄 (亜硫酸ガス)
 - 火山灰:水蒸気誘発型の噴火により発生します。
 - レイズ:溶岩煙霧 (lava haze) の略語で、溶岩が海に達した際に、海水が沸き立つ溶岩により沸騰し発生する副産物です。これにより、海面到達地点で局所的に海水が凝縮されて出来た蒸気や塩酸ガスおよびガラス微粒子により構成される白い煙霧が起こります。

最新情報

キラウェア山頂の火山活動

ハワイ火山国立公園のキラウエアカルデラ内に位置するハレマウマウ火口で水蒸気誘発型の爆発が起こって おります。これはマグマにより熱した地下水が生む蒸気とクレーター内に落ちた岩石が誘因で起こる自然現象です。この現象により、火山灰雲が発生し、ハワイ島南西部上空を漂い、陸から離れ海に向かって霧散します。

火山灰から身を守る為に

- 目や呼吸器系に影響を及ぼす可能性があるため火山灰を浴びすぎないようご注意ください。
- 呼吸器系に問題がある方は火山灰を吸わないよう特にご注意ください。
- 火山灰が降灰する場所では窓を閉め、屋内にご滞在ください。
- お車をご利用の場合、窓を閉め、運転には十分にご注意ください。
- 現時点で道路閉鎖等は行われておりません。

火山灰に関する詳細情報は以下のサイトをご参照ください。

https://bit.ly/2IjIqBV.

キラウエア火山(ハワイ島南部リフトゾーン)

ハワイ火山観測所では、現地調査員が引き続き活動を監視しております。プナ南地区に位置する東リフトゾーンの南側で警戒ベル中程度の噴火が報告されております。5月20日から週末にかけて、海に流れ出る溶岩によりレイズが発生しております。レイズとは、溶岩煙霧(lava haze)の略語で、溶岩が海に達したときに海水が沸き立つ溶岩により沸騰し発生する副産物です。これにより、海面到達地点で局所的に海水が凝縮されて出来た蒸気や塩酸ガスおよびガラス微粒子により構成される白い煙霧が起こります。

ハワイ火山国立公園からの発表

5月23日時点で、公園メインゲートより車で約1時間南下した場所に位置するカフクユニットは水曜日から 日曜日の週5日午前9時から午後3時までオープンしています。入園料は無料です。 ヒロのダウンタウンにあるモクパーパパ・ディスカバリーセンターでは、火曜日から土曜日の間、国立公園 のレンジャーが教育プログラムや最新情報を提供しております。

ハワイ火山国立公園の緊急時対策管理者からのお願いです。ハイウエイ 11 号線でお車をご利用になる際は、スピードを落とし十分に注意し、運転をお願いいたします。特にマイルマーカー28 と 29 の間及びピイマウナロードでは、5 月 16 日の地震の影響でできた道路の亀裂により地面に起伏が生じておりますので、くれぐれもお気をつけください。緊急時以外で、公園敷地内のハイウェイ 11 号線で煙霧を見るためなどの目的で路肩に駐車することは禁じられております。

ハワイ火山国立公園の最新情報は以下サイトをご参照ください。

https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm.

ハワイ防災当局 噴火被害地図

インタラクティブマップは以下サイトをご覧ください。 (ページが表示されるまで時間がかかる場合があります)

https://goo.gl/i7RbrB

空港、宿泊施設、各種アクティビティーについて

- ハワイ島内全空港は通常通り開港しております。
- 宿泊施設、各種アクティビティー、及びアトラクションも、被害地域を除き全て通常通り営業しております。
- ノルウェージャンクルーズラインのプライドオブアメリカ号は、5月30日水曜日にコナに寄港しますが、5月29日に予定されていたヒロ港への入港は中止となりました。
- プナ地区周辺の宿泊施設やアクティビティーを既にご予約されている方は、予約先業者に直接最新情報をお問合せ下さい。
- 5月12日時点で、プナ地区の制限区域内にてバケーションレンタルをご予約されている方は、別エリアへのご予約変更をされるようご案内しております。

噴火地域 (東リフトゾーン)

- 火山の噴火活動および溶岩が流出しているのはハワイ島東部にあるレイラニエステート、ラニプアガーデン近くの東リフトゾーン沿いで、ハワイ島東部、プナ地区の中でも隔離された 25 km ほどの一部のエリアのみです。(プナ地区全体の面積は約1,295 km、ハワイ島全体の面積は約10,432 km)
- 観光の中心地で宿泊施設が集中するハワイ島西海岸のコハラ地区やコナ海岸からは約 110 km以上離れており、今回の噴火活動エリアから最も遠い地区となります。
- ハワイ島東部にあるヒロの街も、噴火エリアより 32 kmは離れており、キラウエアの活動による影響はございません。
- キラウエア火山は地球上でも最も活発な火山のひとつであり、過去35年間に渡り噴火し続けております。
- ハワイ島の東部から西部にかけては自然の流れを妨げるような地形となっております。

プナ南部地区のバケーションレンタルについて

- プナ南部地区の地域住民に対する災害緊急措置に集中するため、ハワイ防災当局は5月12日付けで、プナ南部でバケーションレンタルを運営するオーナー及びオペレーターにバケーションレンタルの運営を休止するよう要請いたしました。
- プナ南部の立ち入り禁止区域はレイラニエステートからカポホを結ぶハイウェイ 132 号線およびカポホからカラパナまでのハイウェイ 137 号線(137 号線からプホア黒砂海岸までの分岐路を含む)、パホアからポホイキまでの 130 号線に囲まれたエリアです。
- 本勧告が解除されるまで、立ち入り禁止区域内にあるバケーションレンタルに宿泊中 / 宿泊予定の 方は速やかに該当区域外の滞在先をお探しください。
- 本勧告は、立ち入り禁止区域内でバケーションレンタルを運営するオーナー&オペレーター、バケーションレンタルの斡旋者および現在立ち入り禁止区域内のバケーションレンタルに宿泊中の方、宿泊のご予約がある方が対象となります。

大気への影響

ハワイ諸島全域を通じて大気への影響はございません。但し、溶岩が流出している場所付近に限り二酸化硫 黄 (亜硫酸ガス) 等の有害物質に汚染されている可能性があるため、当局では引き続き大気への影響を監視 しています。活火山を有する島では VOG (ヴォグ) と呼ばれる火山霧が比較的よく発生します。火山霧の濃度 は火山活動のレベルおよび風向き、風力に左右されます。

ハワイ州全体の最新の二酸化硫黄(亜硫酸ガス)状況は、以下のサイトをご参照ください。 http://www.hiso2index.info/

州全体の空気質の最新状況は Air Now https://bit.ly/2I33ixd でご確認ください。 (実測および予測データ提供元 ハワイ州保健局環境保健庁)

酸性雨に関する報告

キラウエア火山噴火活動中の酸性雨の人体への影響の重大性に関し、ニュース等で誤解を招くような報道がされております。酸性雨はハワイ島に限らず、世界でも大気中に VOG(ヴォグ)と呼ばれる火山霧が含まれる地域で雨が降ったときに通例的に発生するものです。環境保護庁によると、酸性雨の中を歩いたり、酸性雨が降った湖で泳いだりすることによる人体への影響は、通常の雨の中を歩いたり、酸性雨の影響がない湖で泳いだりした場合とほぼ変わりはないということです。 ハワイ島全域に降る雨の構成要素のデータは全米大気降下物研究支援計画の国内トレンドネットワークにて継続的かつ慎重に監視されています。最新情報はハワイ州保健局関連各機関協力の元提供されている以下のサイトのヴォグ情報ダッシュボードでご確認ください。

www.ivhhn.org/vog/

ハワイ火山国立公園

ハワイ火山国立公園は現在閉鎖されております。園内のカフクユニットに限り、通常通り金曜日から日曜日 の午前9時より午後3時まで運営しております。

ハワイ火山国立公園の最新情報は下記サイトにてご確認ください。

https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm

また、火山観測の更新情報は下記サイトにてご確認いただけます。

https://on.doi.gov/2r8G4zE

ハワイ島プナ地域へのアクセス

- ハイウェイ 130 号線 132 号線および 137 号線において一部通行止めとなっております。
- レイラニエステートとラニプナガーデン区域には避難勧告が出され、住人、訪問者ともに、必要性の ある立ち入り以外は禁止されております。
- プナ南部 (カポホ〜カラパナ地域) は、火山活動発生の可能性がある地域として警戒を呼びかけております。
- プナ南部上空全域で一時的に飛行制限が設けられ、エリア内のドローンは没収されます。
- その他注意喚起がないエリアでは通常通りの営業が行われています。車両を運転される方は慎重を期 し、交通量が増加する可能性があることもご理解ください。
- ハワイ州土地自然資源局 (DLNR) 州立公園管理部門は、ラバ・ツリー・ステート・モニュメントおよびマッケンジー州立保養地を一時的に閉鎖しております。
- プナ南部にあるすべてのビーチパーク(ポホイキボートランプ含む)は閉鎖しております。
- ハワイ郡政府は、安全のためカラパナ溶岩見学エリアを一時的に閉鎖しております。

ハワイの火山について

ハワイの火山の噴火は、通常非爆発性もしくは弱爆発性であり、火山学者の間ではハワイ式噴火という言葉は、溶岩の流動性が高く、地下でも噴火時にも連続的に流れ出るが比較的穏やかな傾向にある噴火の代名詞として用いられております。

ハワイ式噴火についての詳しい情報は以下のサイトをご参照ください

https://pubs.usgs.gov/gip/hawaii/page26.html

ハワイ島への観光に関するご質問はハワイ州観光局(03-5213-4643)までお問合せください。

お役立ちリンク

ハワイ郡防災情報

http://www.hawaiicounty.gov/active-alerts

ハワイ郡噴火地図

https://goo.gl/i7RbrB

ハワイ火山観測所 /米国地質調査所

https://on.doi.gov/2FEPVBm

(火山最新情報: https://on.doi.gov/2r8G4zE)

ハワイ火山国立公園

https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm

火山灰情報

https://bit.ly/2IjIqBV

SO2 Measurement Map - Department of Health

http://www.hiso2index.info

大気品質調査/Air Now

https://bit.ly/2I33ixd

ハワイ州保健局関連各機関合同火山霧情報ダッシュボード

http://www.ivhhn.org/vog/

ハワイ式噴火

https://pubs.usgs.gov/gip/hawaii/page26.html

ナ・レオ TV Na Leo TV (video media briefs)

http://naleo.tv/vod/

観光関連最新情報

ハワイ・ツーリズム・オーソリティからのお知らせ

http://www.hawaiitourismauthority.org/news/special-alert/

お電話でのお問合せ

ハワイ島への観光に関するご質問はハワイ州観光局(03-5213-4643)までお問合せください。



ISLAND OF HAWAI'I VOLCANO UPDATE

May 24, 2018

"One thing that impressed me - last night there was a community meeting in Pāhoa and I was there, you can still go grocery shopping. Eerie glow in the sky from the lava fountains, and the event is a generational event, it's something that is impacting the local community heavily. I would not hesitate to come to Hawai'i. If you're coming to enjoy the beaches or eat the delicious food, know it's happening in a small, eastern edge of the island.

Laze is being misconstrued. It's the same plume that happened in the Pu'u'ō'ō event, and little attention was paid to it at that time. It impacts the area just in the immediate area of the plume, very localized. It's not going to travel around the island, float to other areas. Not a reason for people to cancel their trips."

Wendy Stovall, Ph.D. Deputy Scientist-in-Charge Yellowstone Volcano Observatory, Volcano Hazards Program

USGS | National Park Service | Civil Defense News Media Brief Wednesday, May 23, 2018, 11:00 a.m. HST

- Hawai'i is Open for Business: There is absolutely no reason for visitors planning a trip to the island of Hawai'i, or the rest of the state, to change or alter their leisure or business travel plans.
- Air Access: All flights into Hawai'i Island are operating normally.
- Accommodations and Activities: All accommodations, activities and attractions throughout Hawai'i
 Island are operating normally, with the exception of those in the area affected by the volcanic activity in
 the Puna District.
- Remote Location on the Island of Hawai'i's East Side: None of the Hawaiian Islands are affected by Kīlauea volcano except a remote area along the Lower East Rift Zone on the island of Hawai'i's east side, Kīlauea Summit and surrounding areas.
- **Kīlauea Summit Activity:** Steam and ash outbursts from Halema'uma'u crater are occurring in Hawai'i Volcanoes National Park (approximately 40 miles away from the Lower East Rift Zone) and being monitored. This is a natural occurrence as rocks fall into the crater and magma interacts with the groundwater (water table).
- Air Quality: Kīlauea volcano has been erupting for the past 35 years (since January 1983). Lava has reached the ocean on several occasions.
 - Vog: Also known as volcanic smog reaches different areas of the island depending on wind direction.

Island of Hawai'i Volcano Update - May 24, 2018, 1:30 p.m. HST

- SO2: Sulfur dioxide occurs in concentration near active lava flows. Scientists working near the vents must wear gas masks to protect themselves from the concentrated fumes.
- o Ash: Generated by steam-induced eruptions as magma drops and interacts with the water table.
- <u>Laze</u>: A byproduct of lava-ocean interaction and forms as hot lava boils seawater to dryness.
 This interaction results in a localized white plume of condensed seawater steam, hydrochloric acid gas, and tiny particles of glass at the coastal entry site(s).
- o Officials are continuing to monitor air quality.

LATEST UPDATE

KĪLAUEA SUMMIT ACTIVITY

Steam-induced explosions are occurring from Halema'uma'u Crater within Kīlauea Caldera at Hawai'i Volcanoes National Park. This is a natural occurrence as rocks fall into the crater and magma interacts with the groundwater (water table), which results in ash clouds that generally drift and dissipate over the southwest part of the island of Hawai'i and out to sea away from land.

Health tips regarding ash clouds:

- Avoid excessive exposure to falling ash, which can be an eye and respiratory irritant.
- Those with breathing issues should take extra precaution to minimize exposure.
- Stay indoors and keep your windows closed.
- If in a car, keep the windows closed and drive with caution.

For a guide on volcanic ash, visit www.ivhhn.org/images/pamphlets/Health Guidelines English WEB.pdf

KĪLAUEA LOWER EAST RIFT ZONE

Hawaiian Volcano Observatory (HVO) field crews continue to monitor and report moderate-level lava eruption activity in the Lower East Rift Zone (lower Puna area). Over the weekend (May 20), the lava, flowing downhill, reached the ocean, generating "laze." Laze, short for lava haze, is a byproduct of lava-ocean interaction and forms as hot lava boils seawater to dryness. The result is a **localized** white plume of condensed seawater steam, hydrochloric acid gas, and tiny particles of glass at the coastal entry site(s).

PUNA GEOTHERMAL VENTURE (PGV)

As of May 23, the situation at Puna Geothermal Venture remains stable, lava has not encroached further onto PGV property. County, state and federal crews remain on the scene, monitoring for sulfur dioxide and hydrogen sulfide. There is no hydrogen sulfide detected at this time.

MESSAGE FROM HAWAI'I VOLCANOES NATIONAL PARK

As of May 23, the Kahuku Unit of the Park, located about an hour's drive south of the park's main entrance, is now open to visitors five days a week, Wednesday through Sunday, from 9 a.m. to 3 p.m. Admission is free.

Additionally, National Park Rangers are available at the Mokupāpapa Discovery Center in Downtown Hilo (Tuesday through Saturday) to present educational programs and provide updates.

Hawai'i Volcanoes National Park emergency managers are urging motorists to slow down and use caution on Highway 11, particularly between mile markers 28 and 29, and Pi'i Mauna Road, due to cracks in the road and uneven surfaces resulting from an earthquake that occurred on May 16. In addition, motorists are reminded that stopping for non-emergency purposes along the side and shoulders of Highway 11 in Park territory to view the plumes is prohibited.

For Park updates, visit https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm

HAWAI'I COUNTY CIVIL DEFENSE ERUPTION MAP

To view the interactive map (please wait for the page to load), visit https://goo.gl/i7RbrB

BACKGROUND INFORMATION AND RESOURCES

AIRPORTS, ACCOMMODATIONS & ACTIVITIES

- All airports on the island of Hawai'i continue to operate normally.
- All accommodations, activities and attractions on the island are also operating normally, with the exception of those in the area affected by the volcanic activity.
- Norwegian Cruise Lines' Pride of America will make its call into Kona next Wednesday, May 30.
 However, the ship will skip its call into Hilo on Tuesday, May 29.
- Visitors who have already booked a trip to the island of Hawai'i with accommodations or activities in/near the Puna district, should call their provider with any questions or concerns.
- Effective May 12, those who have vacation rental reservations in the Lower Puna restricted area should find alternative accommodations, until further notice.

EAST RIFT ZONE ERUPTION LOCATION

- The volcanic activity and where lava has flowed along the East Rift Zone in/near Leilani Estates and Lanipuna Gardens Subdivisions is limited to an isolated area in Lower Puna on the island's east side. This area in the Puna district covers only less than a 10-square-mile area of the island's 4,028 square miles. The district of Puna is approximately 500 square miles, or the size of half of Rhode Island.
- This is more than 100 driving miles away from the western Kohala and Kona Coasts, where the island's major visitor accommodations and resorts are located, and the area furthest from the current activity.
- In addition, Hilo town is approximately 20 miles away, and accommodations and activities are unaffected by Kīlauea volcano.
- Kīlauea is one of the most active volcanoes on Earth, and has been erupting for the past 35 years.
- The topography of the island between east and west is unconducive for a natural flow.

VACATION RENTALS IN LOWER PUNA AREA

- Effective May 12, the County of Hawai'i Civil Defense Agency has directed all vacation rental owners and operators in Lower Puna to cease operations so that emergency operations can focus on residents who live in the area.
- The Lower Puna restricted area encompasses the area accessed by Highway 132 from Leilani Estates to Kapoho, Highway 137 from Kapoho to Kalapana, and Highway 130 from Pāhoa to Pohoiki, including Pāhoa's Black Sands Beach Subdivision.
- Current vacation renters in this restricted area should find alternative accommodations outside the restricted area as soon as possible.
- Until further notice, visitors who have vacation rental reservations in the restricted area should find alternative accommodations.
- This directive has been issued to owners and operators of vacation rentals within the restricted area, online advertisers of vacation rentals, current vacation renters in the area, and vacation renters with reservations.

AIR QUALITY

Air quality on the island of Hawai'i remains largely unchanged with the exception of where the volcanic activity is happening can have hazardous levels of SO2 (sulfur dioxide). Officials constantly monitor SO2 levels across the island. VOG or volcanic haze is relatively common on an island with active volcanoes (consider Kīlauea has been erupting since 1983) and the level of haze is dependent on volcanic activity and wind direction/strength. For forecast information, visit http://mkwc.ifa.hawaii.edu/vmap/hysplit/. To view SO2 conditions in real-time across the state, visit http://www.hiso2index.info/. For statewide Air Quality, visit Air Now at https://bit.ly/2133ixd (data and forecasts courtesy of the Hawai'i Department of Health – Environmental Health).

REPORTS ABOUT ACID RAIN

- News reports about acid rain during the Kīlauea eruption have mischaracterized the severity of its
 potential effect on human health. In fact, acid rain is a common occurrence anytime there is rainfall on
 an area where volcanic haze, or VOG, is in the atmosphere, whether on the island of Hawai'i or
 anywhere else in the world.
- According to the Environmental Protection Agency, "Walking in acid rain, or even swimming in a lake
 affected by acid rain, is no more dangerous to humans than walking in normal rain or swimming in nonacidic lakes."
- Visit the State Department of Health's Hawai'i Interagency Vog Information Dashboard for the latest information at www.ivhhn.org/vog/.

HAWAI'I VOLCANOES NATIONAL PARK

Most of Hawai'i Volcanoes National Park is closed until further notice. The Park's Kahuku Unit, which includes a 9-mile scenic drive, cinder cone, and several options, is open extended days, Wednesday through Sunday, 9:00 a.m. to 3:00 p.m. Admission is free. For Park updates, visit

https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm. For Volcano Watch updates, visit https://on.doi.gov/2r8G4zE.

ACCESSIBILITY IN THE PUNA AREA

- Road closures are taking place on select areas of Highway 130, 132 and 137.
- No access is allowed at this time for residents of Lanipuna Gardens.
- Residents and visitors who do not have official business in Leilani Estates and Lanipuna Gardens are asked to stay away from the area.
- As a precaution, residents of Lower Puna between Kapoho and Kalapana are advised to be on alert in the event of possible volcanic activity in the area.
- Temporary flight restrictions are in place for most of Lower Puna. Drones will be confiscated in this
 area.
- Those who have rented accommodations or made tour reservations in the general area should check with those respective companies for the latest updates.
- Unless otherwise noted, area businesses are open and accessible. Motorists are advised to drive with caution and be prepared for increased traffic.
- Department of Land and Natural Resources (DLNR) Division of State Parks has closed Lava Tree State Monument and Mackenzie State Recreation Area until further notice.
- All beach parks in Lower Puna have been closed, including the Pohoiki Boat Ramp.
- The County of Hawai'i has closed the Kalapana Viewing Area until further notice.

VOLCANOES IN HAWAI'I

Eruptions of Hawaiian volcanoes are typically nonexplosive or weakly explosive. Hawaiian eruptions, which is a term used by volcanologists worldwide to characterize similar eruptive style at other volcanoes, are usually gentle due to its highly fluid lava composition which tends to flow freely both beneath the surface and upon eruption. For more information about Hawaiian eruptions, visit https://pubs.usgs.gov/gip/hawaii/page26.html.

Travelers planning a trip to the island of Hawai'i who have questions can contact the Hawai'i Tourism United States Call Center at 1-800-GO-HAWAII (1-800-464-2924). For other updates, visit http://hawaiitourismauthority.org/news/special-alert/.

HELPFUL LINKS

Hawai'i County Civil Defense

http://www.hawaiicounty.gov/active-alerts

Hawai'i County Eruption Map

https://goo.gl/i7RbrB

Hawaiian Volcano Observatory / USGS

https://on.doi.gov/2FEPVBm

Volcano Watch updates: https://on.doi.gov/2r8G4zE

Hawai'i Volcanoes National Park

https://www.nps.gov/havo/planyourvisit/lava2.htm

Volcanic Ash Guide

www.ivhhn.org/images/pamphlets/Health Guidelines English WEB.pdf

SO2 Measurement Map – Department of Health

http://www.hiso2index.info

General Air Quality / Air Now

https://bit.ly/2I33ixd

State of Hawai'i Interagency Vog Information Dashboard

http://www.ivhhn.org/vog/

Hawaiian Eruptions

https://pubs.usgs.gov/gip/hawaii/page26.html

Na Leo TV (video media briefs)

http://naleo.tv/vod/

TOURISM UPDATES

Hawai'i Tourism Authority Special Alerts

http://www.hawaiitourismauthority.org/news/special-alert/

TRAVELERS MAY CALL

Travelers planning a trip to the island of Hawai'i who have questions can contact the Hawai'i Tourism United States Call Center at 1-800-GO-HAWAII (1-800-464-2924).